

千波湖周辺の地層とジオサイトについて学びました

～第11回千波湖環境学習会～

当協会では、水戸市との協働事業として、体験しながら環境問題について考える「千波湖環境学習会」を開催しています。2023年度の最終回となる第11回は、「千波湖周辺の地層とジオサイト」をテーマに2月4日（日）に開催しました。当日は、天候にも恵まれ、55名の参加がありました。

まず、早咲きの梅の咲く偕楽園を歩き、園内の地層などを観察しながら、水戸の台地や千波湖の成り立ち、地質と人々の生活の関わりについて学びました。

参加者は親水デッキで、偕楽園を創った第9代水戸藩主徳川斉昭公の創建への思いに耳を傾けた後、偕楽園へ向けて出発しました。



偕楽園創建の思いに
耳を傾けました



南崖の洞窟
地質を活用した先人の知恵に感動

最初のポイントの「南崖の洞窟」では、水戸の土台となっている約700万年前に海底に堆積した泥の地層の岩石を手にとって観察しました。水を通しにくい、軽いなどの性質のため江戸時代には「笠原水道」の水道管の材料として利用され、水問題が解決したことを学び、さらに、偕楽園斜面に位置する「吐玉泉」では、泥岩の地層が不透水層となり水が湧き出すしくみなどの説明がありました。

最後のポイントの千波湖を一望できる「仙奕台」では、氷期・間氷期の海水準変動と関連した千波湖の成り立ちについて学びました。

参加者は各ポイントで出されるクイズに答えながら、熱心に解説に耳を傾けていました。

2023年度の学習会は、延べ1,392名の参加があり、千波湖周辺の環境について、体験を通じて楽しく学習していただくことができました。学習会運営のため、講師としてご協力、飲み物等の提供やスタッフとしてご協力を頂きました事業所等の皆様には心より感謝申し上げます。



千波湖の成り立ちについて
学びました

今回、提供品等ご協力をいただきました、ありがとうございます。

消毒スプレー：花王株式会社鹿島工場様

お菓子：東部燃焼株式会社様

2023年度千波湖学習会の協賛事業所（敬称略）ご協力いただきありがとうございました。

- ・(有)アルファサービス
- ・(株)いばらき環境改善
- ・茨城生物の会
- ・いばらく乳業(株)
- ・いばらきコープ生活協同組合
- ・(株)エコツアー技術研究所
- ・econet いばらき
- ・花王(株)鹿島工場
- ・環境ウィザード(株)
- ・劇団シンデレラ
- ・(株)ジーエスケー茨城
- ・逆川こどもエコクラブ（司会及び講師：小島様）
- ・大東建託(株)
- ・中央技術(株)
- ・東部燃焼(株)
- ・(有)沼田クリーンサービス
- ・バンビ工房
- ・(株)PureCycle いばらき
- ・(株)フットボールクラブ 水戸ホーリーホック
- ・一般財団法人水戸市公園協会
- ・水戸ヤクルト販売(株)
- ・学校法人緑丘学園水戸英宏小中学校
- ・(株)ユーゴー（クリーニング専科）
- ・(有)リビング館ホンダ
- ・飛田憲一先生
- ・角谷清臣先生